

# 『こもんじよ古文書寺子屋』開設のお知らせ

## 若葉8町内公民館

あなたは古文書が読めるようになりたいと思いませんか・・・

江戸時代の文書はお家流というくずし字体で書かれています。お家流は書道の一流派ですが、幕府がこれを公式の書体と定めたため、江戸時代を通して、公文書、私文書を問わずこの書体が普及しました。寺子屋などでもこれを教えましたから、江戸時代の人々はこの書体で読み書きをしていました。

明治時代に入ると文字は活字体に変わり、それに慣らされて長年月を経た現代人には、お家流は読めない文字となってしまいました。しかし、文字の崩し方には一定のルールがあり、それを憶えてしまえば意外と簡単にお家流は読めるものなのです。

この度、下記要領で町内に寺子屋を立ち上げることになりました。歴史に興味をお持ちであれば、どなたにも受講資格があります。どうぞお気軽にご応募ください。

2012年10月25日

八町内公民館長 平川 寛

### 記

主 催	若葉校区8町内公民館
事業名称	八町内古文書寺子屋
開催場所	町内老人憩いの家
開講日時	月1回 第三土曜 午後2時～4時
講師陣	主に館長平川が勤めますが、外部応援講師もあり
取扱い文書	県立図書館などにある地方文書
費 用	無 料
申込み先	電話 096-367-1655 (館長 平川) Eメール hah8e370@s2.dion.ne.jp

# 退野先生

## よめの志るへ

丙午のとしむすめの人ふゆからいまだ  
 物のことハリをしらざれば、人の家をやぶらん  
 ことをおそれて、おしへいませしめの事ども  
 を、かきてつかはし侍る。大やう五品を  
 ゑらび出しぬ。これのミにやむべから  
 ざれども、後の日のことならじ。

一 君子につかまつりやうの事  
 一 君子の父母につかまつりやうの事  
 一 身の守りやうの事

### 大塚退野

延宝五年（1677）～寛延三年（1750）江戸中期の儒者。細川藩儒。熊本市生まれ。家は代々細川氏に仕え、元禄十五年（1702）五代退野のときは、官は御番方禄二百石。

宝永六年（1709）官途を辞し講学に専念。世禄の家系だつたので生活には困窮せず、学問に没頭したが、地位的には生涯不遇であった。学問は初め陽明学、二十八歳のとき朱子学へ転向。「朱子書節用」を研鑽し、ついに熊本実学派の祖となつた。

退野の朱子学は、実践躬行、学問の深奥を究める点で、当時の官学の林家とは相当異なっていた。その流れは幕末の横井小楠、元田永孚らに影響し、明治の教育に結実した。また、女子教育にも独自の見解を「よめのしるべ」に述べている。熊本市春日町長谷に葬る。

（熊本県大百科事典より抄録）

丙午のとしむすめの人ふゆからいまだ  
 物のことハリをしらざれば、人の家をやぶらん  
 ことをおそれて、おしへいませしめの事ども  
 を、かきてつかはし侍る。大やう五品を  
 ゑらび出しぬ。これのミにやむべから  
 ざれども、後の日のことならじ。

一 君子につかまつりやうの事  
 一 君子の父母につかまつりやうの事  
 一 身の守りやうの事